

経営比較分析表（平成29年度決算）

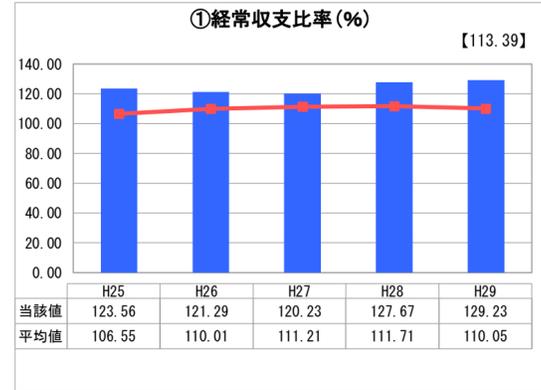
三重県 鳥羽市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	86.13	99.89	2,970	

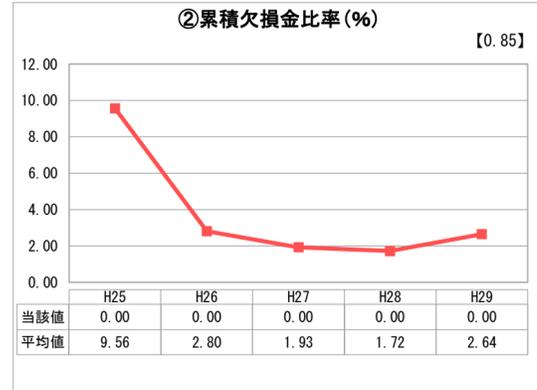
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,239	107.34	179.23
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,993	1.08	17,586.11

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

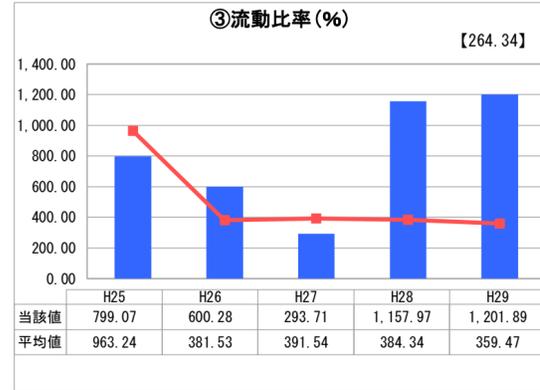
1. 経営の健全性・効率性



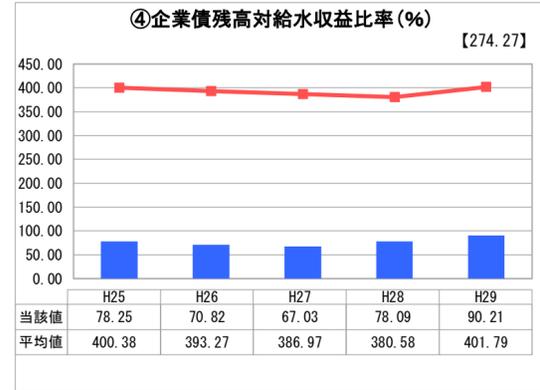
「経常損益」



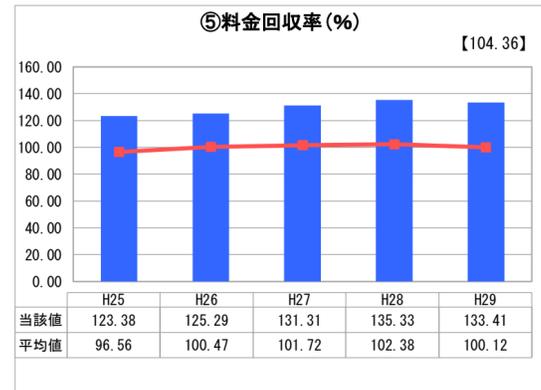
「累積欠損」



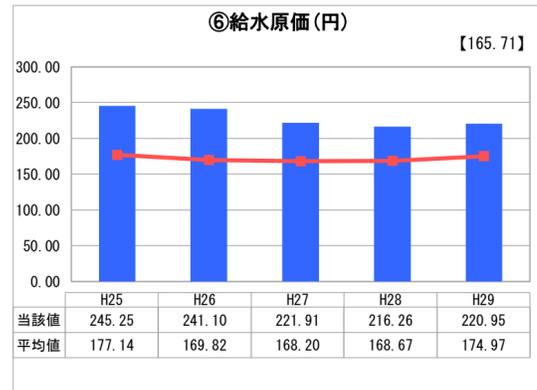
「支払能力」



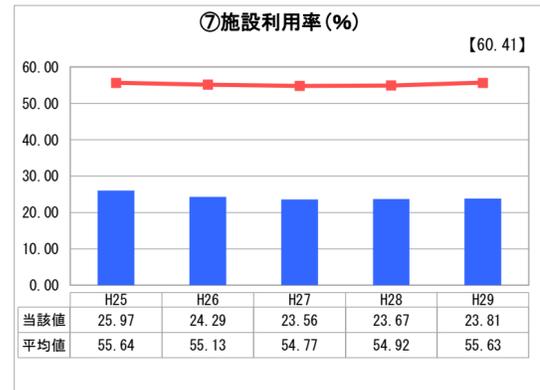
「債務残高」



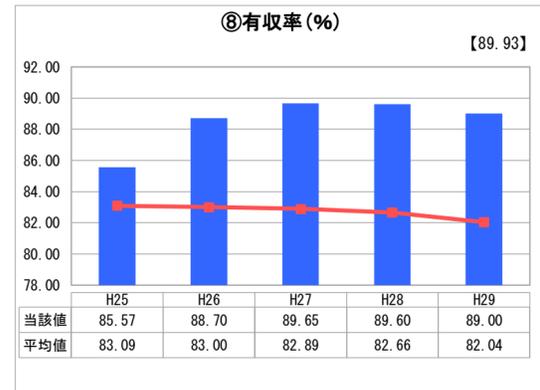
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

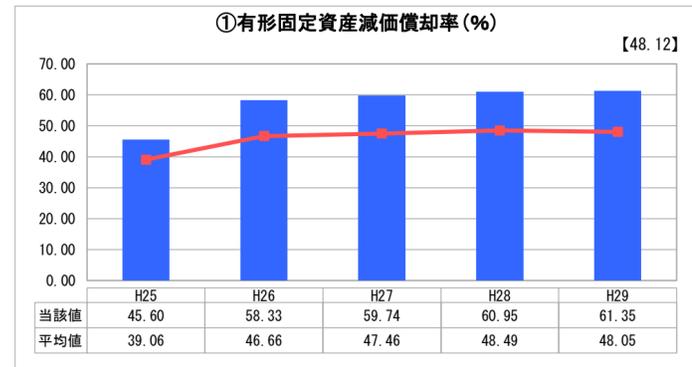


「施設の効率性」

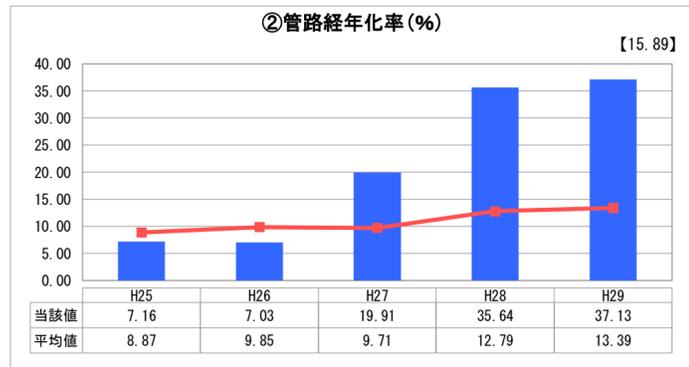


「供給した配水量の効率性」

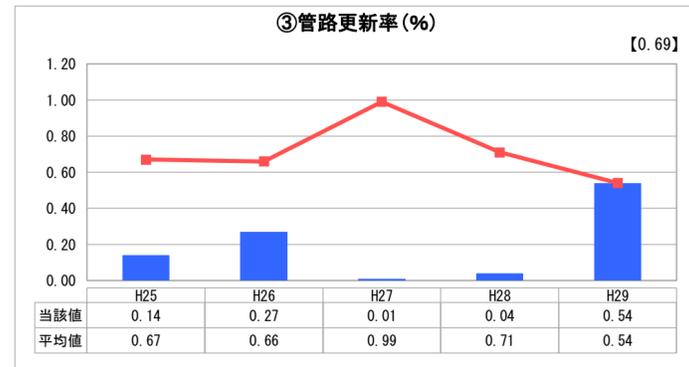
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営収支比率は、過去5年間を見ても100%を上回っており収支は比較的良好であるといえる。また、料金回収率についても100%を上回っていることから給水収益で費用が賄われているといえ、経営が安定していることが見てとれる。

施設利用率については、類似団体よりも低い。これは人口及び観光客数の減少による自然減が原因であることから今後の更新計画については、ダウンサイジングにより施設能力の縮減を行い経費の節減と安定的かつ効率的な施設整備を目指す必要がある。

有収率は、継続的に実施している漏水調査により類似団体と同等の高い有収率を保持している。今後もこの数値を更に向上できるように求められる。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が約61%であり施設の老朽化が進んでいる。また、管路経年化率が類似団体と比べて高く、管路更新率は低いことから、老朽管の更新・耐震化事業を実施し計画的な更新を行う必要がある。

全体総括

現在の経営状況は比較的良好であるといえるが、さらに費用の削減に努めていく必要がある。

また、水道事業を取り巻く環境は、海底送水管をはじめとする水道施設の老朽化への対応や地震に強い管路の整備などが急務となっていることから施設のダウンサイジングをはじめとした効率的な改良により安心安全な水供給を図る上で欠かせない経営基盤の確立が必要となる。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。